

多世代居住 コミュニティ推進 ハンドブック



令和4年3月版

神奈川県

ハンドブック1【共通】
多世代居住コミュニティとこのハンドブックについて

ハンドブック2【地域住民向け】

地域への働きかけ

ハンドブック2-①【市町村職員向け】
市町村の庁内検討・連携

ハンドブック2-②【市町村職員向け】
地域への働きかけ

ハンドブック3【共通】
地域で考え、取り組む機会づくり

ハンドブック4【共通】
地域における集まる場（拠点）づくり

ハンドブック5【共通】
地域における活動の充実・継続的な活動へ

- 本ハンドブックは、随時事例収集等を行い、必要に応じて加筆・修正を図りながら内容を充実させていきます。
- 参考となる取組事例、ご意見、ご要望等がありましたら、神奈川県住宅計画課までご連絡ください。

多世代居住コミュニティ推進ハンドブック（平成31年3月版）総目次

ハンドブック1 多世代コミュニティとこのハンドブックについて【共通】	
ハンドブック2-① 市町村の行内検討・連携【市町村職員向け】	
第1章 各部署間における課題・取組・認識の共有化 ……1	
1 居住コミュニティ政策の推進	
(1)「居住コミュニティ政策」担当部署の設置	
(2) 目的・方向性の明確化	
(3) 居住コミュニティ政策の担当の役割	
2 関係部署の課題・取組等の取りまとめ	
(1) カテゴリー毎の整理	
(2) 居住コミュニティの関係部署の取組等の全体像の把握	
3 各部署との課題・取組・認識の共有化	
(1) 各部署の取組や課題等の共有化	
(2) 多世代居住コミュニティの実現に向けた認識の共有化	
(3) 推進体制、優先度の高いテーマ等の議論	
第2章 多世代居住コミュニティの行内推進体制づくり ……10	
1 検討の進め方	
2 関係部署との連携協働	
第3章 多世代居住コミュニティの対象地域や人材のさがし方 ……14	
1 対象地域のさがし方	
2 キーパーソンや活動団体のさがし方	
ハンドブック2-② 地域への働きかけ【市町村職員向け】	
第1章 キーパーソン・団体とのつながり ……2	
1 地域内のキーパーソン等とのつながり方	
(1) 関係部署との調整	
(2) 市町村からキーパーソン等へのアプローチ	
第2章 キーパーソン・団体との意見交換 ……6	
1 キーパーソン等との意見交換の実施	
2 キーパーソン等との意見交換のテーマ	
3 多様な活動団体へのヒアリング	
4 地域と地域外の人材・団体とのマッチング	
第3章 地域（住民）への働きかけ方・入り方の共有化 ……11	
1 声かけする住民等	
2 話し合う場のづくり方	
(1) コーディネーター等の役割	
(2) 話し合いの進め方	
(3) 話し合いの目標	

ハンドブック2 地域への働きかけ【地域住民向け】	
序章 プロローグ ……1	
1 地域主体による多世代居住コミュニティの実現にむけて	
第1章 目的の検討と情報収集 ……2	
1 目的の明確化	
2 地域状況の把握	
(1) 地域の現状を調べてみる	
(2) 地域内のキーパーソン等の探し方	
(3) キーパーソンへのアプローチ	
第2章 キーパーソン・団体との意見交換 ……7	
1 キーパーソン等との意見交換の実施	
2 キーパーソン等との意見交換のテーマ	
第3章 地域（住民）への働きかけ方・入り方の共有化 ……9	
1 声かけする住民等	
2 話し合う場のづくり方	
(1) 話し合いの進め方	
(2) コーディネーター等の役割	
(3) 話し合いの目標	
ハンドブック3 地域で考え、取り組む機会づくり【共通】	
第1章 地域住民・活動団体への声かけの実施 ……1	
1 住民等への声かけ用のチラシ等の作成	
2 住民等への声かけ	
第2章 地域で話し合う機会 ……3	
1 活発に話し合う機会に向けて	
(1) ワークショップ形式での話し合い	
(2) 多様な意見を出してもらう仕掛け	
2 多世代居住コミュニティへの共通認識	
(1) 主旨説明等には十分な時間を	
(2) 地域主体のまちづくりの具体的な事例を紹介	
3 話し合う機会のテーマ	
(1) はじめのテーマは身近なもの	
(2) 参加意欲を高め維持する工夫	
4 地域活動や人をつなげ、地域主体によるまちづくりを進める仕掛け	
第3章 地域でできることの実践 ……10	
1 小さくてもできることの実践	
2 実践によって判明した課題の認識と対応	

ハンドブック4 地域における集まる場（拠点）づくり【共通】	
第1章 自らが運営する集まる場（拠点）づくりの準備 ……1	
1 コアメンバーによる検討	
2 集まる場（拠点）で目指すこと	
3 運営体制の構築	
4 実施プランの作成	
第2章 集まる場（拠点）づくりの取組み ……8	
1 試行してみる	
2 本格実施	
■ 取組み事例 ……10	
① 横浜若葉台団地	② わたせハウス
③ ヘアレントイレホーム金沢文庫	
④ ハートフルポート	⑤ さくら茶屋にしば・さくらカフェ
⑥ Space ぶらっと大船	⑦ コミュニティダイニング
ハンドブック5 地域における活動の充実・継続的な活動へ【共通】	
第1章 地域における活動の充実と継続的な活動 ……1	
1 取組みを充実させ継続的な活動へ	
(1) 仲間や組織の結束力を高める	
(2) 活動の理念や目的の確認と見直し	
(3) 取組みの充実と継続的な活動の展開	
2 事業化を考える前に	
(1) 事業化を考える前の心構え	
(2) 地域に必要な独自事業モデルの構築	
(3) 事業化に必要な資源	
(4) 事業化の前に整理しておくこと	
第2章 事業化に必要なこと ……7	
1 人材の発掘と参加促進	
(1) 意欲ある人材の発掘と参加促進	
(2) 担い手やコーディネーターの活用	
2 活動資金を得る	
(1) 財源の種類	
(2) 資金調達に必要なもの	
(3) 支援をお願いする	
(4) 支援の獲得増幅	
第3章 コミュニティビジネスの成長と展開 ……13	
1 事業モデルの見直しと構築	
(1) ニーズの再確認	
(2) 社会性と事業性	
2 コミュニティビジネスの成長と展開	
(1) 他の組織との連携・ネットワーク化	
(2) インパクトを高める	
(3) 成長のためのポイント	

多世代居住コミュニティ推進

ハンドブック1

多世代居住コミュニティと
このハンドブックについて

令和4年3月版

1 はじめに

人口減少及び少子高齢社会の到来は、住宅地の立地や利便性などに応じて、コミュニティの衰退など地域で多様な課題を生じさせています。これらの課題は、これまでの住宅政策、福祉政策、地域政策、産業政策などの個別政策の展開による対応では、解決が困難な状況となっています。

このため、これからのまちづくりのあり方は、「地域の居住コミュニティを創出・再生する」という視点で、これまで個別に展開してきた取組を捉え直し、地域の状況に応じて、地域が主体となる総合的な取組が必要です。具体的には、「市町村における居住コミュニティ政策の推進」と「地域主体による多世代居住コミュニティの実現」に取り組むことが必要です。

そこで、「居住コミュニティ政策」を県内各地に展開し市町村職員及び地域住民の活動の一助とするため、このハンドブックを作成しました。

2 多世代居住のまちづくりとは

神奈川県では、「多世代居住のまちづくり」について、次のように考えています。

少子高齢化や空き家の発生によって活力が低下している住宅地において、
子どもから高齢者までの多世代が近くに住み互いに支えあい、
誰もが生き生きと生活できるように、地域主体で居住コミュニティを創出・再生
するための取り組み

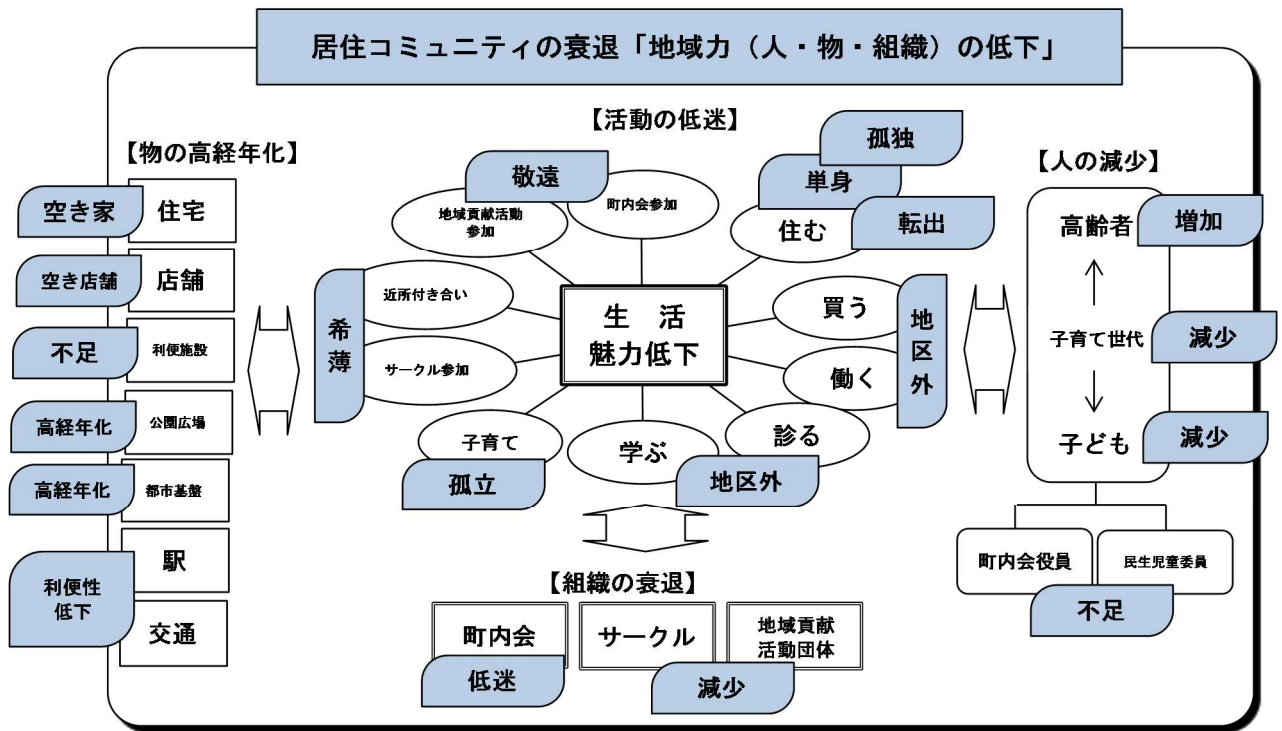
3 目的

(1) 居住コミュニティ政策の推進

人口減少及び少子高齢社会の到来を見据え、市町村において部局横断的な居住コミュニティ政策の積極的な取組が行われることを目的とします。

(2) 地域主体による多世代居住コミュニティの実現

人口減少、少子高齢化、コミュニティの衰退、空き家問題などの様々な状況に的確に対応するため、自治会、町内会などの地域が主体となり、NPO法人やボランティア団体など、多様な主体と連携・協働しながら、自立した多世代居住コミュニティが形成されることを目的とします。



～「地縁による地域共同体」から「多様な主体による協働体」へ～

〔 地域が主体となり「将来の自分たちのまち」への責任を持ち、多様な主体と連携・協働した、自立した多世代居住コミュニティの実現 〕

継続的・持続的な活動を通じた「地域の魅力づくり」



